

単元名：

「かたちづくり」

(全 5 時間扱い中 第 3 時)

授業日時 2021 年 10 月 15 日 (金) 第 1 校時

授業学級 1 年 2 組

授業会場 1 年 2 組教室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

影絵の形を三角形の枚数や角の合わせ方を工夫して作り上げた子ども達が、棒を繋げてどんな形が作れるかを考える場面で、棒のつながり方を工夫しながら様々な形をつくる活動を通して、棒を使って形を作ることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 前時の振り返り	「三角形を使って作った！」 「〇〇を作ったー」 「どうゆうこと？」 「よくわからない」	「前の時間何したか覚えてる？」 「何作ったか教えて～」 ※児童の発言を拾い上げつつ、前回の授業で作った形をパワーポイント等に表示する。 「みんな三角形は使いこなせるようになっただね。」 「じゃあ、これ使って同じもの作れるかな？」 ※パワポでピックアップしたものの一つを棒を繋げて作ることができるか問う	10
	2. 棒で三角形を作る	「三かく形！」 「でかい」 「三つ繋げれば作れる！」 「できるー」 「やりたい！」	「じゃあ、まず皆が昨日使ったのがこれだよね」 ※三角形を黒板に貼る。 「この三角形をこの棒で作ることってできる？」 ※棒状磁石三本を黒板に貼る。 やりたがる児童を指名して棒で三角形を作ってもらおう。 「なるほど～。棒を使っても三角形をつくることはできるんだね」 「皆にはこのことを踏まえて、棒を使っていろいろな形を作って欲しいんだ」 ※学習課題を黒板に書く。	
	【学習問題】ぼうをつなげていろいろなかたちをつくらう			
	【学習課題】ぼうをつなげてどんなかたちがつくれるだろう			

展開	3. 棒でいろいろな形を作る	「〇〇作りたい」 「三角形よりも難しい。」 「△△さんと一緒に数字作ったよ」	「机を班の形にしてください。」 ※その後各班に、棒が入った袋を配布する。 ※iPad を取りに行ってもらう 「iPad を使って、自分が作った形を写真に撮ってください」 ※教師は机間指導を行い、共有場面で活かそうな児童の作品を撮っておく。	10
	4. 作った作品を共有する	「私は〇〇を作った！」 「はい！」 「△△さんと一緒に発表したい」	「机を元の位置に戻してください」 「じゃあ、自分の作品を発表してくれる人～？」 ※挙手してくれた児童の端末を電子黒板につないで全体に共有し、説明してもらおう。 ※教師は作品の良い点についてなどコメントする	10
	【本時の評価（評価する対象）】 棒を使って色々な形をつくることのできる			
終末	5. ふりかえり	「全然～」 「はーい」 「はい、使う本数が多かった」	「どうだった？三角形で作るのと比べて難しかった？難しいと思った人ー？」 「なんで難しかったー？理由言える人ー？」 ※理由を拾い上げながら、コメントしまとめる。	5